佐渡総合高校　環境工学系列　２年
測量体験・現場見学会アンケート結果

・実　施　日：令和 8 年 10 月 27 日（火）
・参加生徒数：19 名（欠席 2 名）

1. 参加前の建設業への興味



とてもあった	：	2名　10.5%
少しあった	：	12名　63.2%
あまりなかった	：	3名　15.8%
まったくなかった	：	2名　10.5%

2. 参加後の興味の変化



とても興味がわいた	：	6名　31.6%
少し興味がわいた	：	12名　63.2%
変わらない	：	1名　5.3%
興味がなくなった	：	0名　0.0%

3. 将来の仕事として建設業を考えたいか



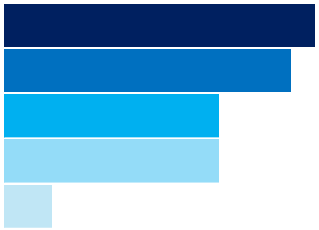
ぜひ考えてみたい	：	7名　36.8%
少し考えてみたい	：	9名　47.4%
わからない	：	2名　10.5%
考えていない	：	1名　5.3%

4. 印象に残ったプログラム（複数回答）



測量機器体験	：	2名　8.7%
ドローン操作体験	：	10名　43.5%
河川工事現場見学	：	0名　0.0%
重機見学	：	11名　47.8%
建設の仕事の説明	：	0名　0.0%
その他	：	0名　0.0%

5. 参加して感じたこと（複数回答）



技術や重機がすごいと思った	：	13名　72.2%
建設の仕事に興味を持った	：	12名　66.7%
建設の仕事は地域の役に立っている	：	9名　50.0%
仕事の内容がよくわかった	：	9名　50.0%
もっと話を聞いてみたいと思った	：	2名　11.1%
特に変化はなかった	：	0名　0.0%
その他	：	0名　0.0%

＜総括・結果＞

今回の測量体験･現場見学会では、多くの生徒が土木･建設業への理解を深めるとともに、建設業を将来の進路として前向きに捉える結果が得られた。特に重機やドローンなどの実体験を通じて建設業の魅力や最新の技術、安全性を実感し、「建設業に興味を持った」「建設業を将来の仕事として考えてみたい」と回答した生徒が多数を占めたことから、土木 PR および担い手確保に向けた有意義な取組でした。

＜感想・自由意見＞

① ドローン体験への関心（5 件）

- ドローンが楽しかった。
- ドローンの操作が面白かった。
- ドローンが破損したときよりも本体を紛失したときが大きな損失であることを学んだ。
- 建設業でドローンが活用されていることが分かった。
- またドローンを操作してみたいと思った。

② 重機捜査・見学への関心（4 件）

- バックホウを操作でき印象的だった。
- 重機には様々な種類があり操作方法が難しかった。
- 熟練したオペレーターの技術に驚いた。
- 体験したことで重機についてもっと知りたいと思った。

③ 建設業への理解・イメージ向上（4 件）

- 建設業は、安全第一で仕事をしていることが分かった。
- 土木は大変な仕事というイメージが変わった。
- 建設業が世の中のあたりまえを支えていることが理解できた。
- 今の建設業では、様々な技術を活用していることが分かった。

④ 船舶体験・現場体験への関心（3 件）

- 船の操船を体験できた。
- 建設業で船を利用する仕事があることを知った。
- 実際の工事現場を見ることで仕事への理解が深まった。

⑤ 将来の進路・職業意識の変化（3 件）

- 建設業に興味がわき、もっと見学したいと思った。
- 将来建設業に入り、佐渡を支える仕事をしたいと思った。
- 佐渡にも多くの建設会社があることに驚いた。

感想・自由意見から

- ドローンや建設重機など最新技術・機械への関心が高い
- 体験型の PR が強い印象を与えている
- 土木・建設業に対する理解が深まり、イメージ改善につながっている
- 将来の進路として建設業を意識する生徒が見られる